

古民家の野外博物館

# 日本民家園だより

昭和61年度第2号

《通号第5号》

発行 61・10・1

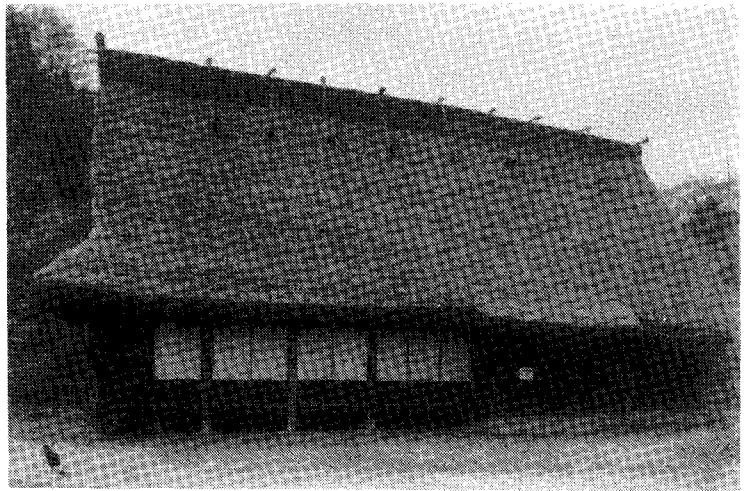
川崎市立日本民家園

川崎市多摩区併形 7-1-1

電話 044) 922-2180-1

## 利賀谷の合掌造り旧野原家住宅

- 旧野原家住宅
- 神奈川県指定重要文化財
- 合掌造民家 切妻造り庇付き  
茅葺
- 平面積 153 M<sup>2</sup> (46坪)
- 旧所在地 富山県東砺波郡利  
賀村利賀20
- 昭和40年11月 野原 忠次  
氏より川崎市に寄贈
- 昭和40年11月 解体
- 昭和41年10月 移築・復原に  
着手
- 昭和42年4月 移築完成
- 昭和46年3月 神奈川県  
重要文化財に指定



旧野原家住宅

### ◎ 合掌造の民家

この家は、野原忠次氏の住宅で、江戸時代後半の今から200年くらい前の合掌造民家です。

野原家は、庄川本流の東隣の谷を流れる支流

・利賀川流域にあった合掌造の一例です。

合掌造民家は、きつい勾配をもった切妻屋根をもち、地方色豊かな、近世民家の中でも、ひととき目立つ存在としてあまりにも有名です。

それは、この地方が積雪地帯であることと、副業の養蚕の二つが大きな影響を及ぼしたと思われま。広い屋根裏の上が2階になっていま

すが、養蚕のためのもので、妻壁の明窓も養蚕のための通風窓を外観として巧みにまとめたものです。

野原家の間取りは、平面の桁行を三分し、中央を表から裏まで通った広い室とする広間型です。

### ◎ みどころ

- 屋根平葺 (段葺きでない)
- ちょうなばり (梁が大変曲っている)
- 御上 (広い居間) ・ 出入口が平入り

# (園の動き)

## ◆第6回夏休み郷土学習講座<8/2~8/3>

~石仏の調べ方・家のまどりについて~

◇小・中学生を対象に実習を入れて学びました。

## ◆第13回親と子の手づくり教室<8/17>

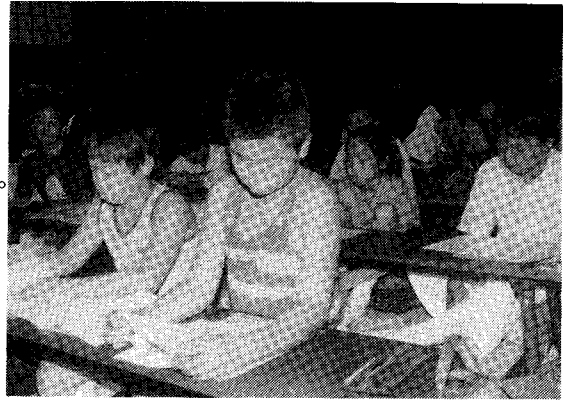
~竹細工(水鉄砲・オシボリオキ)をしよう~

◇親子で楽しく作り、水を飛ばしてみました。

## ◆第14回親と子の手づくり教室<9/14>

~十五夜のオダンゴ作り、お月見をしよう~

◇昔の石うすで、お米をひき粉にしておいしいオダンゴを作りました。皆で食べてみました。



茅葺民家の中で涼しく事前学習



園内の石仏・庚申塔見学から

## 12月までの行事案内

### ◆民具づくり教室〔10月5日・12日〕

~布ぞうり作り~

◇申 込 9月14日から往復ハガキで、先着30名まで

◇内 容 綿布を素材にした手づくり布ぞうりの製作

◇教材費 300円(当日納めてください)

### ◆民家に学ぼう会〔10月19日・26日—2日間コース〕

◇申 込 9月28日から往復ハガキで、先着30名まで

◇内 容 各地方の古民族の特徴について解説:見学

◇受講料 無 料

### ◆民家園ボランティア講座〔11月7・14・21・28日の午後〕

◇申 込 10月19日から電話で20名まで

◇内 容 古民家解説・近世の庶民生活史など

◇受講料 無料(お気軽にご参加ください)

### ◆年中行事展示など

七夕まつり<7/5~7/6>

「タンザク」をかいて竹飾りをつくりました。

万 鋸(マンガ)洗<7月中>

「田植え」のあとのまつりとして祝いました。

盆 行 事 <8月中>

「オショウロウダナ」を古民家の中に展示した。

十 五 夜 <9/14~9/30>

「手づくり教室」のオダンゴをお供物にして

文化映画会 <9/28>

①10:30 ②1:30 旧山下家(白川郷の家)

第2回日本民家園協議会<9/25>

園の今後のあり方など委員のご意見をいただき

これからも皆さんから親しまれる園をつくるた

めの熱心な検討の場となりました。

~~~~~

### ◆民具づくり教室〔12月7日・14日〕

◇申 込 11月23日から往復ハガキで30名まで

◇内 容 しめ縄作りとしめ飾りのつくり方

◇教材費 300円(当日納めてください)

### ◆親と子の手づくり教室

◇申 込 11月30日から往復ハガキで20名まで

◇内 容 お正月のおもちつき

◇教材費 300円(当日納めてください)

### ◆年中行事展示など

◎刈りあげ(稲の刈上げ祝い)<10月中>

◎八日僧(ヨウカゾ)魔除けの目カゴ <12月中>

◎正月準備(もちつき・すずはらい)

# ひろげよう全国の輪！ ～全国文化財集落施設協議会例会開く～

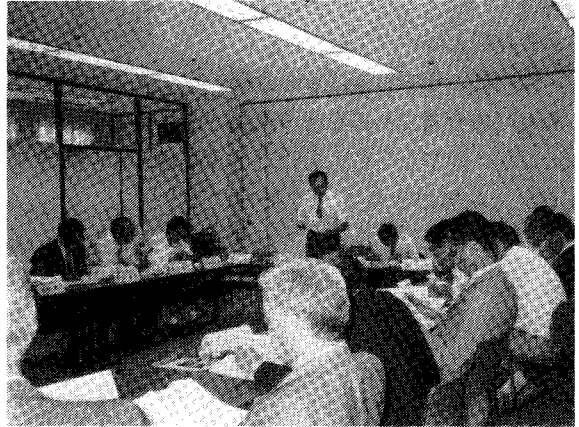
9月11～12日の2日間、北は北海道開拓記念館から南は四国民家博物館まで、全国の文化財建造物を所有する施設で作られた協議会例会が、川崎市立日本民家園を開催地として、11施設20名の参加で開かれました。

第1日目は、園内見学と会議を行いました。各地方の特色ある民家の規模・構造やその家に関するエピソードなどを加えて、園の実際を見ていただき、引きつづき会場を「市民プラザ」に移して、報告・協議を行いました。とくに、情報交換会では、参加各施設の近時における工夫や実態について、お互いの意見・考え方を十分に話し合い、大きな成果をあげることができました。

中でも、車椅子等身体障害者対策や券売機導入問題・ガイドの方法などについて熱心な意見交換があり、有意義な話し合いとなりました。

第2日目は、マイクロバスで、東芝科学館・川崎大師平間寺を訪れ、他施設見学をしました。

最新科学の粋をたっぷりと見学、新時代の機器の展示のあり方を考えさせられた後、江戸時代をほうふつとさせる「お大師様」を詣でて、境内の数々の歴史的記念物を案内いただき、対象的な両施設を見学し、本年度の例会の幕を閉じました。



永田園長の提出課題説明

## ワラジで歩く会

## 民具製作技術保存会 行事から

民枝会では年間を通じてワラ細工・竹細工・はた織りなどの実演、実習をしておりますが、全会員を対象にする行事は、ワラ細工で最も身近かで親しみのあるワラジやゾウリは会員の誰もが作れるようにとの発想から、自作のゾウリで歩く会と、自作のワラジで歩く会を例年開催しております。ゾウリで歩く会は49年6月に生田緑地めぐりを、翌年は深大寺と植物園を歩き、51年から緑ヶ丘霊園から東高根森林公園、妙楽寺のコースに変えて実施しましたが55年には、



このコースが「長尾の里めぐり」として、市の自然遊歩道に指定されました。その後58年からは、「たちばなの里めぐり」に変え、今年6月22日に実施しました。もう一つのワラジで歩く会は、48年11月に第1回を生田緑地でおこない翌49年からは箱根旧街道の石畳の道を、関所前から湯本駅まで歩くコースで実施しております。今年14回目で11月9日に予定しております。ワラジのはき心地や、破損状態を調べたりなど、何回かのアンケートをとりました。

57年には新潟と川崎のワラで作ったワラジを比較する調査をおこない、その結果は会報に発表すると共に、日本民具学会においても発表し、ユニークな調査結果として注目されました。

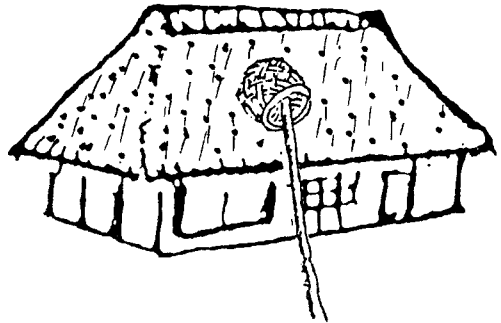
# 年中行事 12月の行事 八目僧 = コト八日 =

(旧北村家住宅年中行事解説)

2月8日をコトヨウカというが、同じように12月8日もコトヨウカとっている。

地方により2月8日をコトオサメ、12月を正月をむかえてのコトハジメといたりする。2月8日をコトハジメとって一年の農作業の始まりと考え、12月8日をコトオサメと呼び農作業の終わりと考えるところもある。つまり、コトの意味する内容によってハジメとオサメが2月ないし12月とちがってくるわけである。

園内で、年中行事展示の会場となる旧北村家住宅のものの所有者である秦野市堀山下の北村一平宅では、一つ目小僧が来ることを防ぐために目の多い目籠(メケゴ)を竿の先にさして軒先高く立てる。また、戸外に下駄や洗濯物を出しておくと言判を押されるといって、家の中にしまい込む。その他、悪病神が人の悪事を帳面に書いて道祖神(サイノカミ)にあずけて行くので、1月14日にはそれを燃やしてしまう意味でサイトヤキを必ず行なっている。



目のたくさんあるイモフリカゴを立てる

川崎北部の(長沢)においては、12月と2月の8日にミカリダangoとってシイナ(くず米)でダangoをつくり、8日の夕方のあずき粥に入れて煮込んだものを3個ずつ篠竹にさし、戸袋・入り口など家の三方にさす。あずき粥は8日夕方ダangoを入れたまま食べ、ミカリダangoは翌朝までとっておき焼いて食べたそうである。

地方によっては、炉端でニンニク・ネギ・グミ・ヤツガシラ及び菊の葉などにおいの強いものを燃やして退散させようとするところもある。また、コト八日には裁縫を習う女の人たちが、日頃使っている針に感謝し供養する日でもあり、古い針や折れた針を豆腐にさしたり、川に流したりするところもある。いずれにしても、県内においては訪れる妖怪名について川崎、横浜(港北区)方面ではミカワリバアサンといい、その他県内の地域では、一つ目小僧、目一つ小僧などと呼ぶように重複している点もある。このように人々が生活して行く中で生まれた物忌みの観念に基づく行事の一つが、コト八日(ヨウカゾー)と考えられる。

## のぞいてみませんか

民具製作技術保存会  
行事から

- ◆ワラジで歩く会 11/9(日)
- ◆はた織 10/5(日) 19(日) 12/19(金)
- ◆ミノ・ご用かご 10/19(日) ◆メザル 11/16(日)
- ◆ワラジ 11/2(日) ◆オミキノクチ 11/30(日)
- ◆シメナワ 11/23(日) 12/14(金)
- ◆エジッコ 12/21(日)

詳しくは日本民家園事務所まで、お問い合わせください。

## 編集後記

第5号をお届けします。

おもに古民家と園内の催し物などを紹介しておりますが、中でも民具づくり教室や親子の手づくり教室などが大変に人気があるようです。これからも大勢の方が親しみをもって足を向けてくださるような広報、そんな日本民家園だよりを発行したいと考えていますので、よろしくお祈りいたします。